

JR の責任産別として
組織と運動を磨き、
すべての関係者との対話を通じて
強しなやかな JR 産業を築こう!

<https://www.jr-rengo.jp>



JR 連合

JAPAN RAILWAY TRADE UNIONS CONFEDERATION

日本鉄道労働組合連合会

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-8-10 東興ビル9階
TEL (NTT) 03-3270-4590
FAX (NTT) 03-3270-4429
1部 20円 (但し組合費に含む)

facebook

JR連合

(旧 twitter)

JR連合

●発行者/上村良成 ●編集者/宮野勇馬



グループ労組連絡会を代表し、分科会活動の有効活用と全単組が一丸となった取り組みを呼びかける奥村代表幹事

JRグループ労組連絡会 第 33 回 総会

分科会活動を有効活用し 全単組が一丸となって邁進しよう

海上新代表幹事を選出

JRグループ労組連絡会は8月22日、大阪市内で第33回総会を開催し、向こう1年間の活動方針を決定した。

結成から32年を迎えたJRグループ労組連絡会は、88単組、3万3000人を超える組織に発展した。JR産業を支えるグループの労働組合として、重要な役割を担っている。

総会では、分科会別討議を含め、労働条件改善のほか組織強化・拡大等、多岐にわたり活発な議論を展開した。役員改選では、新たに海上弓彦氏 (JR西日本連合シエリアル西日本伊勢丹労働組合) を代表幹事とする新体制を確立した。

幹事を代表して挨拶した奥村敬弥代表幹事 (JR東海連合・東海交通事業労働組合) は、安全の確立、春季生活闘争、組織強化・拡大について所信を述べ、「分科会活動を有効に活用し、全単組が一丸となって諸活動に邁進しよう」と呼びかけた。

また、JR連合を代表して上村良成会長は、最近のJR連合の取り組みを紹介するとともに、「業種毎の政策課題解決を通じて、組合員の幸せ実現と産業の発展に全力を尽くす」との決意を述べた。

総会の途中で開催した分科会別討議では、業種毎に9つの分科会に分かれて政策課題の抽出を行うべく議論を展開した。各分科会からは安全の確立、人材の確保、業務上の問題などの課題が示され、様々な解決策が提案されるとともに、多くの分科会から価格転嫁が

令和8年度 予算概算要求・税制改正要望公表 JR連合の要望が反映

8月26日、国土交通省は令和8 (2026) 年度の予算概算要求および税制改正要望を取りまとめ、財務省に提出する内容を発表した。要求・要望内容には、JR連合の政策課題として掲げた項目が反映された。

国交省としての予算概算要求では、一般会計7兆812億円 (今年度当初予算比19%増)、うち鉄道局関係1205億円 (同13%増) が計上された。このうちローカル鉄道の再構築に対する支援のほか、整備新幹線に係る経費や防災・減災、国土強靱化への投資の加速化、JR二島・貨物への経営支援が計上された。

税制改正要望では、今年度末で期限切れとなる鉄道事業再構築事業を実施するローカル鉄道の資産取得に係る特例措置やJR貨物が取得した新規製造車両に係る特例措置などの延長といったJR連合が求めてきた内容が反映された。

JR連合はこの間、「JR連合重点政策集2025-2026」に基づく行政や政党への要請のほか、JR各社、交通労協等と連携し、政策実現に向けて取り組んできた。今回の要求・要望項目はJR連合の主張と同じベクトルを志向している。今後、予算案や税制改正大綱の編成に向けた議論が進められるにあたり、引き続き各単組や関係議員等と連携し、政策の実現に向け対応していく。



海上新代表幹事のもと団結がんばろう

求められ、その原資となる鉄道運賃見直しの必要性が訴えられた。

議事では住吉一家事務局長 (労働政策局長) が提起した運動方針を満場一致で決定し、活動牽引する新幹事会体制を確立した。新たに代表幹事に就任した海上氏は「仲間との意見交換を積み重ね、JRグループ労



海上新代表幹事

JR産業の課題を共有し より二層の連携強化を図る

議員秘書との意見交換会を開催

9月3日、「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」に所属する国会議員の秘書を対象とした意見交換会を開催した。約60人の議員秘書が参加したほか、JR各単組の政策担当者も参加した。

冒頭、上村会長が挨拶し、直面する政策的課題と組織的課題について所感を述べた。政策では、JR二島・貨物の経営自立実現に向けて、JR北海道の黄線区問題、四国新幹線の早期実現、JR貨物・旅客会社間の線路使用料に係る協定のあり方等の課題解決が必要と言及し、政策推進への理解と協力を要請した。また、現在行われている労働基準関係法制の見直しに係る議論について触れ、労働組合が担う役割とその必要性を訴えた。

続いて、谷口組織局長から組織に関し、JR労働界の現状、とりわけJR東日本において労働組合未加入者が多数を占める状況を説明するとともに、住吉労働政策局長から労働基準関係法制見直しの動きや労使コミュニケーションのあり方について、石川敏也産業政策局長からはJR北海道・JR貨物の抱える課題が2027年3月末に期限を迎えることに伴い、緊急的に対応すべき重点政策課題について説明を行った。

その後は国会議員選出



各エリアに分かれ意見交換を実施

〈予算概算要求〉

- ◆**ローカル線**…協議会の開催や調査事業、実証事業の実施に関する費用の支援や協議・合意形成の結果実施される地域が主体となった取り組みへの社会資本整備総合交付金による支援を計上
- ◆**整備新幹線**…北陸新幹線敦賀・新大阪間の開業に向けて、施工上の課題解決を目的とした北陸新幹線事業推進調査に係る経費を計上。一方、新規着工に要する経費については昨年同様、事項要求。また、基本計画路線を含む幹線鉄道ネットワークについては、効果的・効率的な整備手法や高機能化等に係る調査費用を計上
- ◆**防災・減災、国土強靱化への投資の加速化**…耐震対策の推進、貨物鉄道ネットワークも含む鉄道の安全・安定輸送確保のための各種対策、戦略的なメンテナンス・老朽化対策の推進支援を計上
- ◆**JR二島・貨物への経営支援**…JR北海道・JR貨物における支援の実施、JR四国に対する令和8年度以降の支援の検討 (鉄道・運輸機構の特例業務勘定により予算化)

〈税制改正要望〉

- 鉄道事業再構築事業を実施するローカル鉄道の資産取得に係る特例措置【不動産取得税：非課税】(2年間の延長を要望)
- JR貨物が取得した新規製造車両に係る特例措置【固定資産税：課税標準を5年間2/3に軽減】(2年間の延長を要望)
- より環境負荷の小さい輸送手段への転換及び公共交通機関の利用者利便の増進に資する事業に係る特例措置【地球温暖化対策のための税：還付】(3年間の延長を要望)
- カーボンニュートラルに向けた投資促進税制【法人税：税額控除又は特別償却等】(2年間の延長を要望)



「富士山の森づくり」植林ボランティア活動 社会や地域とつながる 「JR連合ビジョン」を实践

8月23日、JR連合は「富士山の森づくり」植林ボランティア活動を実施した。

今回は、イーストユニオン、JR東海ユニオン・JR東海連合、JR西労組、JR四国労組、JR九州労組からの組合員・家族を含め、総勢42人が4グループに分かれ、成長した苗木を獣害から守るためのネットの張り直し作業や、苗木に陽を当てるための除伐作業を行った。その後は交流バーベキューを行い、懇親を図った。



第1回産業政策委員会(9月3日)

各委員は、前段で開催された国会議員フォーラム秘

各委員会続々始動 安全指針の見直しと第5次男女平等 参画行動目標の策定を検討

■第1回産業政策委員会(9月3日)

9月3日、JR連合は第1回産業政策委員会を東京都内にて開催した。

2025年度の取り組みとして、事務局から①政府

予算編成および税制改正に対する取り組み、②「JR連合重点政策集2025-2026(補足版)」の策定に向けた検討、③緊急重点政策の実現に向けた取り組み、④政策シンポジウムの開催、⑤各種政策課題への対応などについて提起を行い、各単組から取り組みの報告を受けるとともに、具体的な方針について意思統一を図った。

また、労働協約改訂交渉や次期春季生活闘争において、女性活躍推進法に基づき「一般事業主行動計画」の策定状況や進捗確認を行うなど、女性活躍推進に向

けた取り組みを進めることや、連合の各種取り組みに積極的に参画すること、さらには、JR連合として女性役員を対象とした研修会を開催することを確認した。

■第1回安全対策委員会(9月10日)

9月10日、JR連合は第1回安全対策委員会をW E B形式にて開催した。熱中症による死亡労災が連続して発生していることや、危険な事象が多く発生していることを真摯に受け止め、事故や労災の原因について共有し、「すべてのJR関係労働者の死亡事故をゼロ」をテーマに引き続き取り組みを確認した。

また、業種間安全検討会については、メンテナンス部門に係る労災防止や設備の保守等に係る知見を深めるため、電力総連と連携して開催することを確認した。

さらに、2016年の改訂から10年近くが経過している「安全指針」について、近年の労災の特徴や労災防止の考え方を反映するとともに、これまでの安全シンポジウムで得られた知見などを活かし、改訂する方針を固めた。

広島地本執行委員長が挨拶に立ち、安全の確立、組織の強化・JR連合への総結集、取り巻く環境の変化に伴う政策課題等について述べるとともに、激戦となった参議院議員選挙広島選挙区への協力に謝意を示した。

JR連合からは今井事務局長が出席し、産業政策や組織の強化等の課題に対する認識を示すとともに、解決に向けた地協活動の重要性に触れ、継続した取り組みを呼びかけた。

議事では、幹事会より運動方針などが提起され、亀山泰孝新事務局長(JR西労組米子地本執行委員長)をはじめとする役員選出も含め、すべての議案を満場一致で承認し、石松議長が団結がんばろうで力強く会を閉じた。

なお、本総会には茨城市明J R連合前会長が来賓として参加した。

冒頭、挨拶に立った鎌田隆司議長(JR連合副会長・JR東海ユニオン中央執行委員長)は、「労働市場の急速な変化等、不確実で不安定、複雑で曖昧な時代だからこそ、労働組合の役割を発揮し、JR産業全体に労使の信頼関係を広げ、仲間を守るために、組織の拡大に全力をあげていこう」と呼びかけた。

JR連合からは谷口組織局長が出席し、参議院議員選挙の取り組みへの謝辞を述べたうえで、安全の確立、各種政策、民主化闘争、組織強化・拡大、政治活動等の連動した課題認識

東海地協第34回定期委員会 組織と運動を磨き 強くしなやかなJR産業を築こう

JR連合東海地方協議会 は、7月22日、名古屋市内において第34回定期委員会を開催し、東海エリアのグループ労組を含めた各単組から集結のもと、向こう1年間の活動方針を決定した。

議事では、常任委員会側から運動方針などが一括で提起され、半田健介新議長、井形優介新事務局長をは

じめとする役員選出も含め、すべての議案が満場一致で承認された。

最後に、半田新議長の力強い団結がんばろうで閉会した。

私たちジェイアール東海高島屋労働組合は、(株)ジェイアール東海高島屋で働く組合員で活動しています。

「組合員とその家族の幸せの実現」を目標に掲げて集い、処遇改善や労働環境の整備に向けて日々活発な議論を重ね、その成果を会社との協議に反映しています。

会社事業は、2000年3月に名古屋駅直上のJ Rセントラルタワーに複合型大型百貨店「ジェイアール名古屋タカシマヤ」をオープンして以降、「タカシマヤゲートタワーモール」「ジェイアール名古屋タカシマヤフーズメゾン 岡崎店」を順次オープンしました。

今後も、お客様の購買行動の

こくみん共済 NEWS

「たすけあいの輪をむすぶ」 こくみん共済 coop は、 次のステージへ

公式キャラクター
ビットくん

たすけあいの輪をむすぶ

こくみん共済〈全労済〉

全国労働者共済生活協同組合連合会

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

2025平和行動in根室 北方領土の早期返還 日ロ平和条約の締結を

連合は、6月の沖縄、8月の広島・長崎における行動のほか、終戦後に旧ソ連

9月に開催している。2025平和行動in根室は、9月6日に北方四島学習会、翌7日に2025平和ノサツブ集会が開催され、JR連合からは宮野勇馬企画局長、谷口組織局長のほか、JR北労組、JR東海ユニオンの仲間が参加した。

北方四島学習会では、「海から見た北方領土問題」「ふるさと北方四島への想い」と題する講演を受けた。納沙布岬・望郷の岬公園で開催された2025平和ノサツブ集会において挨拶した連合の清水秀行事務局長は、「北方四島の早期一括返還と日ロ平和条約の締結による真の平和の実現に向けて粘り強く取り組み」と決意を明らかにした。また、来賓として北海道北方領土対策本部長、根室市長らが出席し、感謝と連帯の言葉が述べられた。蘭舞諸群島勇留島出身の元島民からは、故郷を思う切実な願いが訴えられた。

最後に、「北方領土問題が解決するその日まで、粘り強く運動を継続していく」ことを力強く宣言した集会アピールを採択し、参加者全員の決意が込められたがんばろう三唱で幕を閉じた。

中国地方協議会第33回定期総会 地域で横のつながりを強化し 総結集を果たす

JR連合中国地方協議会 は8月26日、岡山市内において第33回定期総会を開催し、向こう1年間の方針を決定した。会場には中

国エリアのグループ労組を含めた各単組から組合員が集結した。

冒頭、中国地協を代表し石松大介議長(JR西労組

ジェイアール東海 高島屋労働組合

変化や名古屋駅周辺環境の将来的な変化など、様々な変化に臨機応変に対応し、当社の魅力をさらに磨き上げていきます。

本年2025年度は、「ジェイアール名古屋タカシマヤ開業25周年」という節目の年です。これまでの感謝を込めて、記念イベントなど、様々な企画を通じて地域の皆様とともに盛り上げていきます。今後とも、ジェイアール東海高島屋労働組合をよろしく願います。

